

報告事項ウ

令和4年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について

令和4年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について、別紙のとおり報告します。

令和4年4月13日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和4年度鳥取県立高等学校
入学者選抜学力検査における得点状況

鳥取県教育委員会

令和4年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和4年度	31.8	24.7	26.7	28.2	25.8	137.1

令和4年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 3,052人

各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去10年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和3年度	29.0	35.3	24.4	27.0	28.7	144.4
令和2年度	27.7	28.5	25.7	27.0	28.4	137.3
平成31年度	26.9	30.1	27.3	31.3	24.6	140.3
平成30年度	29.9	30.4	24.6	28.6	27.7	141.2
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3

<学力検査得点状況に見られる傾向>

国語	知識及び技能を問う問題から、筆者の考えや登場人物の心情を的確に読み取る問題や、根拠を明確にし、条件に従って自分の考えを表現する問題など幅広く出題した。知識及び技能を問う問題においては、問題によって正答率に大きな差が見られた。論理の展開や表現を分析的に捉える問題、及び与えられた条件に従って的確に表現する問題の正答率が低かったが、場面や状況の理解に関する問題は正答率が高く、平均点は昨年度より上がった。
社会	社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解を問う問題、既習の知識を活用し、社会的な見方・考え方を働かせながら、様々な地図、グラフ、表、資料を適切に読み取り、思考・判断・表現させる問題を出題した。地図の読み取りについては正答率が高かった。一方、グラフや表から地域的特色や各時代の特徴をつかむ問題の正答率が低かった。平均点については、昨年度より大幅に下がった。初見の資料やグラフを活用した問題が多かったこと、複数の正解を選択する問題を出題したことなどが要因として考えられる。
数学	数学については、基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、概念と知識を結びつける問題や解決の方法・手順について記述させる問題、数学的な見方・考え方を働かせて論理的に考察する問題を出題した。基本的な計算や数値を求める問題は正答率が高かった。しかし、概念と知識を結びつける問題、解決の方法・手順について記述させる問題の正答率は高くはなく、与えられた条件から文字を用いて立式し、数学的な見方・考え方を働かせて対象を論理的に考察する問題の正答率は低かった。全体的に基本的な知識・技能を問う問題の正答率が高かったため、平均点については、昨年度より上がった。
理科	基礎的・基本的な知識の理解度を問う問題や、観察・実験の結果や資料を読み取り、それをもとに考察(計算も含む)する問題を出題した。資料から目的に応じて必要な情報を抽出し実験結果を予想する問題や、資料を参考にしながら課題を解決する問題の正答率が低かった半面、重要語句等の知識を問う問題の正答率が高かったことにより、平均点は昨年度より上がった。
英語	「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識及び技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で用いられる会話やまとまりのある文章を題材に出題した。具体的な情報を正確に聞き取ったり、短い英文(スピーチ)や段落ごとの概要を読み取ったりする設問では正答率が高かったが、実際のコミュニケーションの場面において、知識や技能を活用して表現する問題では正答率が低かった。この傾向は、昨年よりも顕著であり、そのため平均点は昨年度より下がった。

2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

(人)

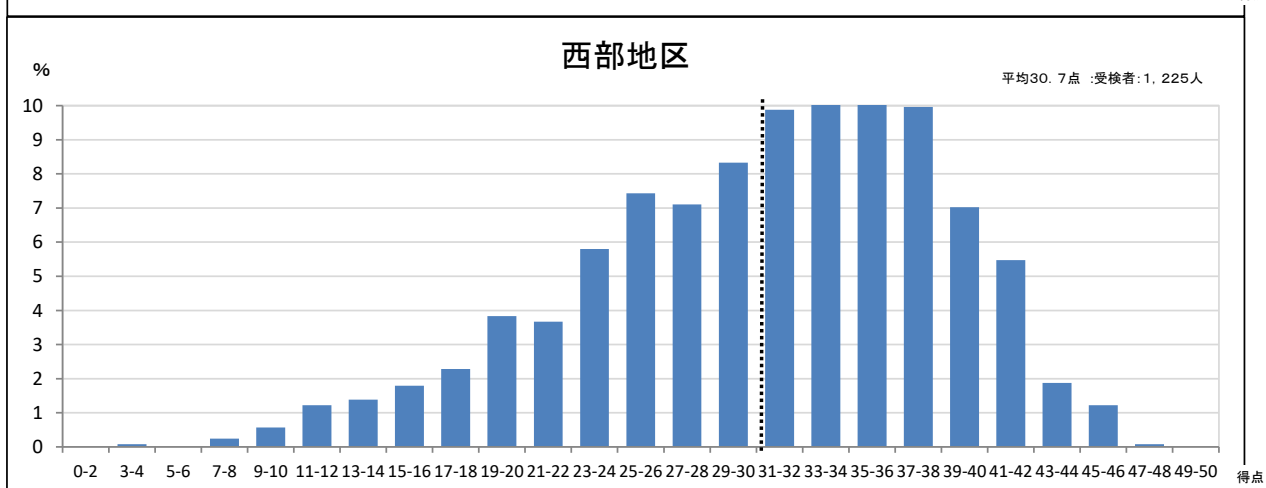
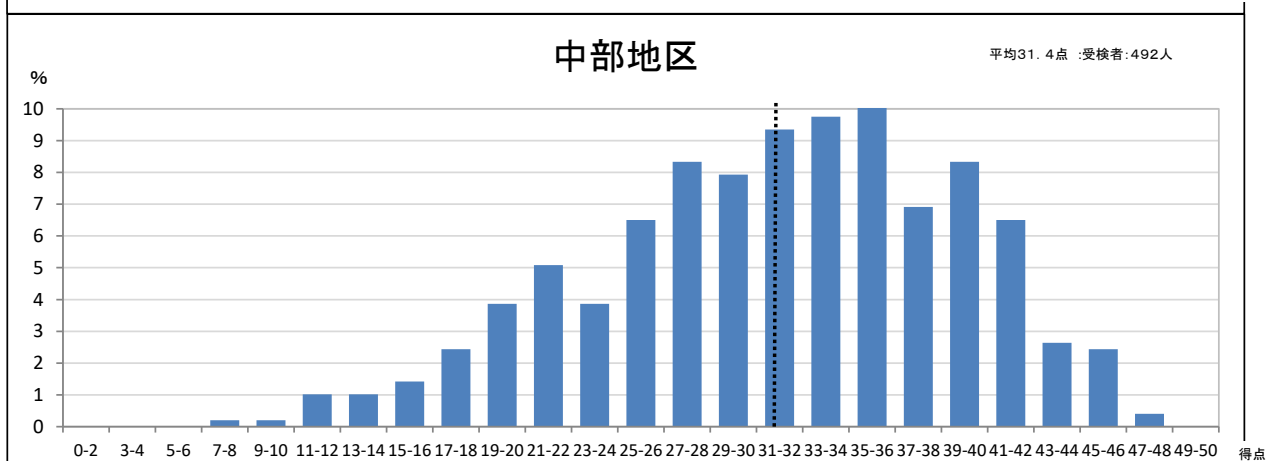
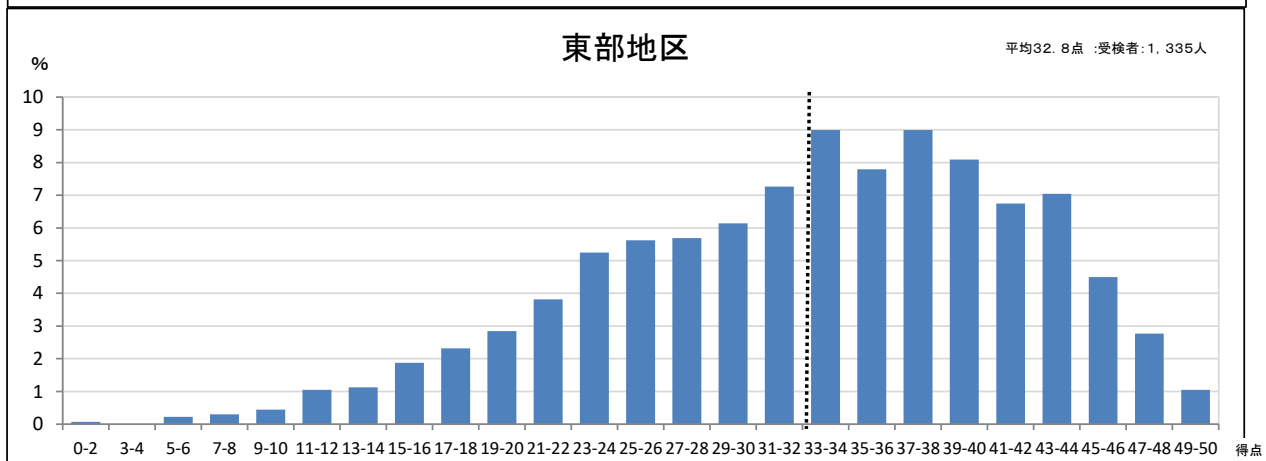
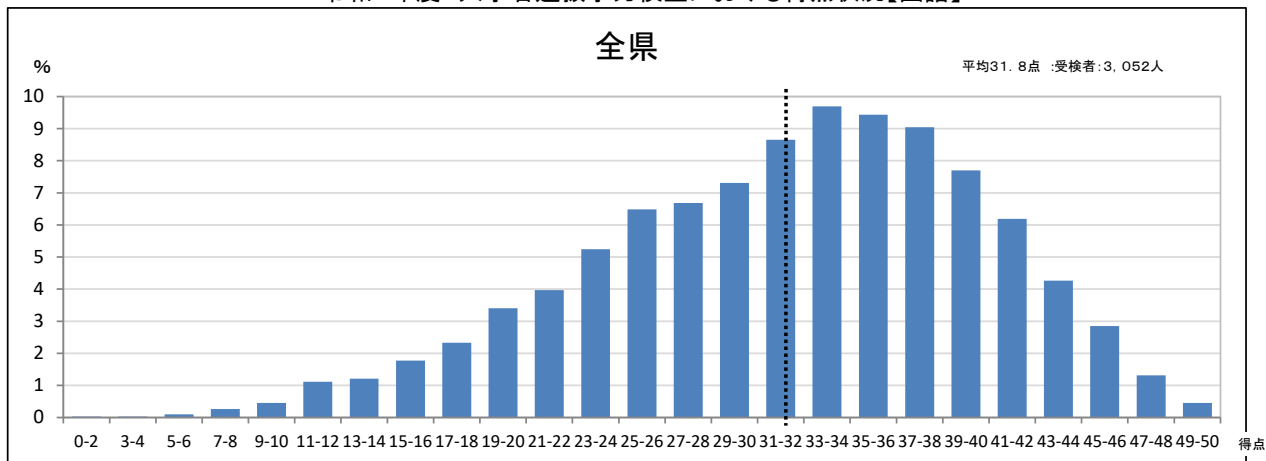
得点	教科	国語	社会	数学	理科	英語	
0	～	2	1	1	33	2	14
3	～	4	1	3	56	5	63
5	～	6	3	11	72	12	82
7	～	8	8	41	90	34	121
9	～	10	14	85	78	50	150
11	～	12	34	137	96	70	144
13	～	14	37	150	112	107	120
15	～	16	54	191	103	122	130
17	～	18	71	215	121	138	126
19	～	20	104	206	149	175	124
21	～	22	121	229	137	202	114
23	～	24	160	218	177	207	151
25	～	26	198	211	177	186	142
27	～	28	204	256	162	208	152
29	～	30	223	230	205	185	164
31	～	32	264	243	204	206	192
33	～	34	296	206	226	238	203
35	～	36	288	144	206	217	191
37	～	38	276	108	175	190	163
39	～	40	235	80	145	189	157
41	～	42	189	54	141	146	132
43	～	44	130	23	75	80	93
45	～	46	87	6	66	56	64
47	～	48	40	2	28	23	46
49	～	50	14	0	18	2	14
受験者数		3,052	3,050	3,052	3,050	3,052	

【総得点における度数分布】

総得点	人数		
0	～	5	0
6	～	10	1
11	～	15	0
16	～	20	1
21	～	25	0
26	～	30	3
31	～	35	6
36	～	40	14
41	～	45	18
46	～	50	30
51	～	55	46
56	～	60	42
61	～	65	55
66	～	70	58
71	～	75	68
76	～	80	81
81	～	85	68
86	～	90	90
91	～	95	82
96	～	100	91
101	～	105	73
106	～	110	89
111	～	115	88
116	～	120	95
121	～	125	102

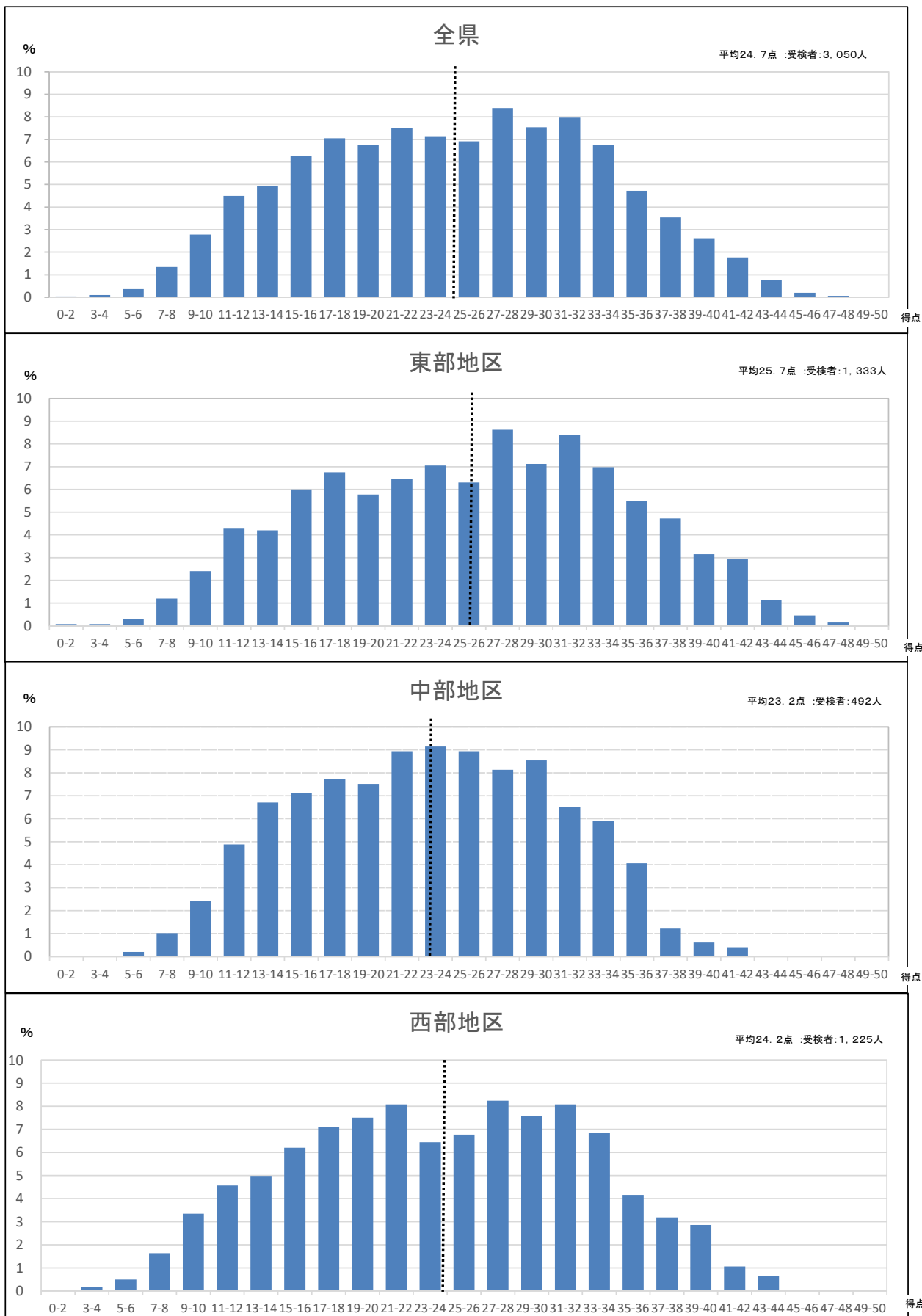
総得点	人数		
126	～	130	83
131	～	135	99
136	～	140	111
141	～	145	118
146	～	150	123
151	～	155	116
156	～	160	123
161	～	165	121
166	～	170	127
171	～	175	127
176	～	180	117
181	～	185	105
186	～	190	111
191	～	195	81
196	～	200	94
201	～	205	64
206	～	210	45
211	～	215	35
216	～	220	21
221	～	225	18
226	～	230	10
231	～	235	2
236	～	240	0
241	～	245	0
246	～	250	0
受験者数		3,052	

令和4年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



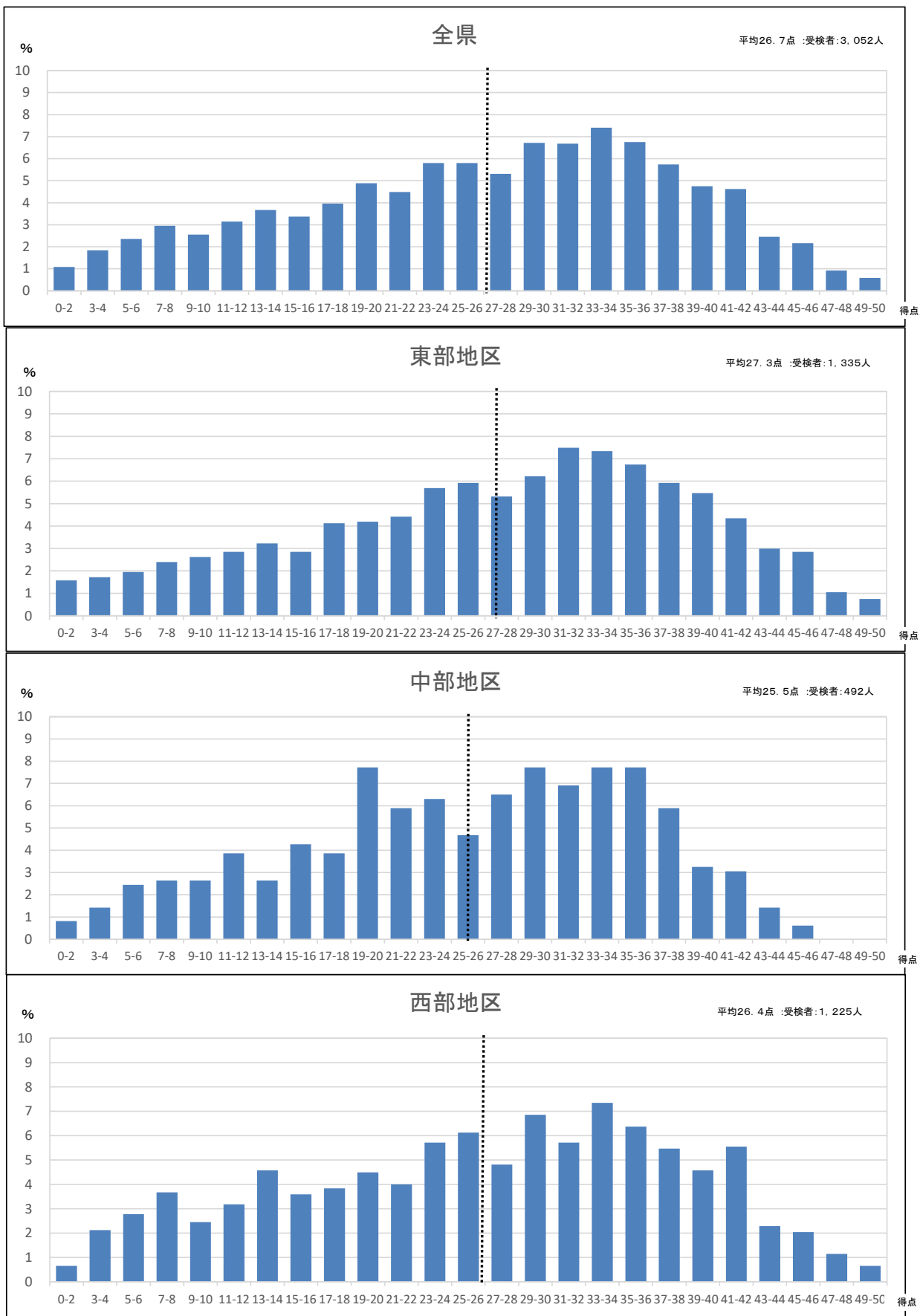
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和4年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



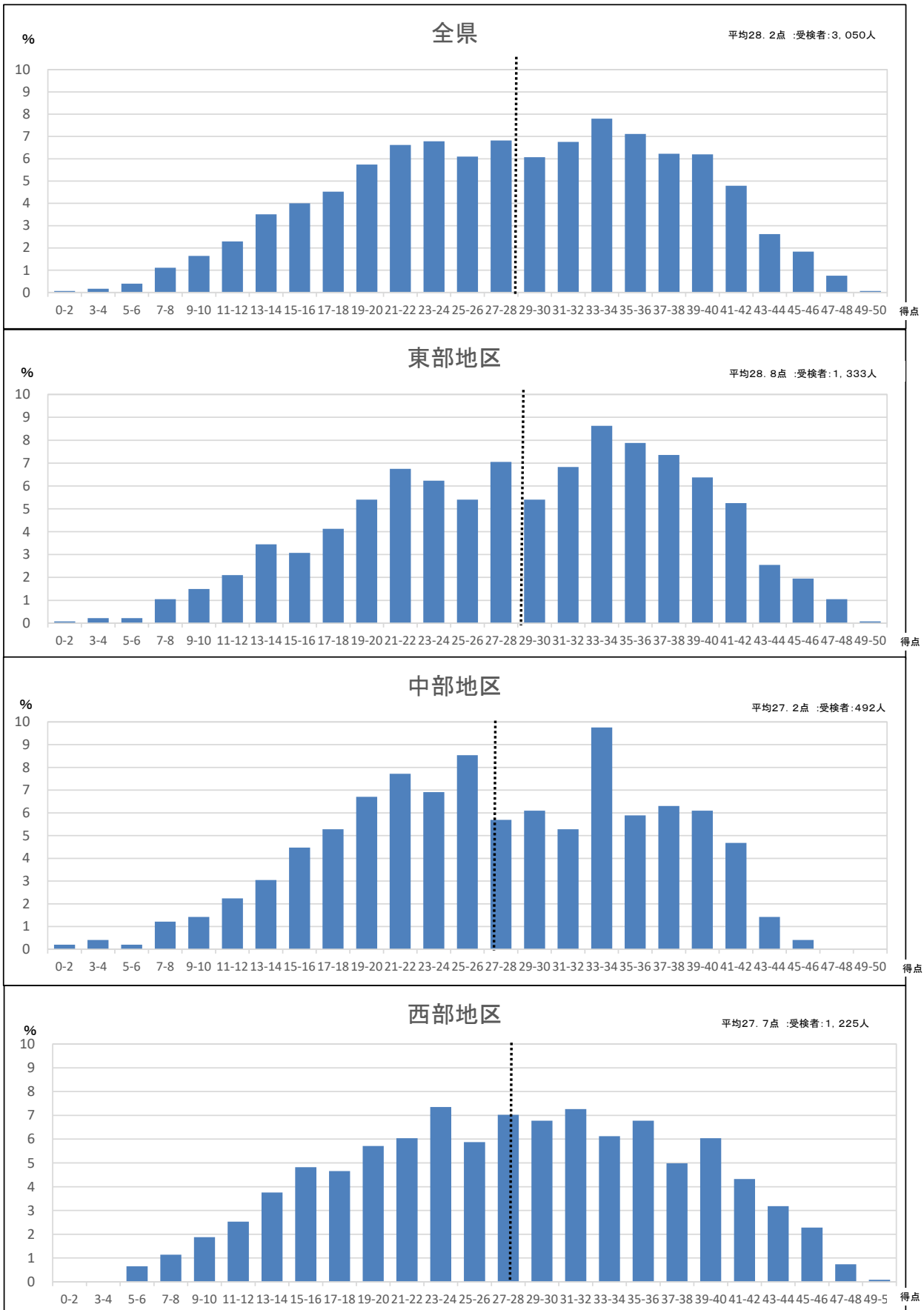
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和4年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



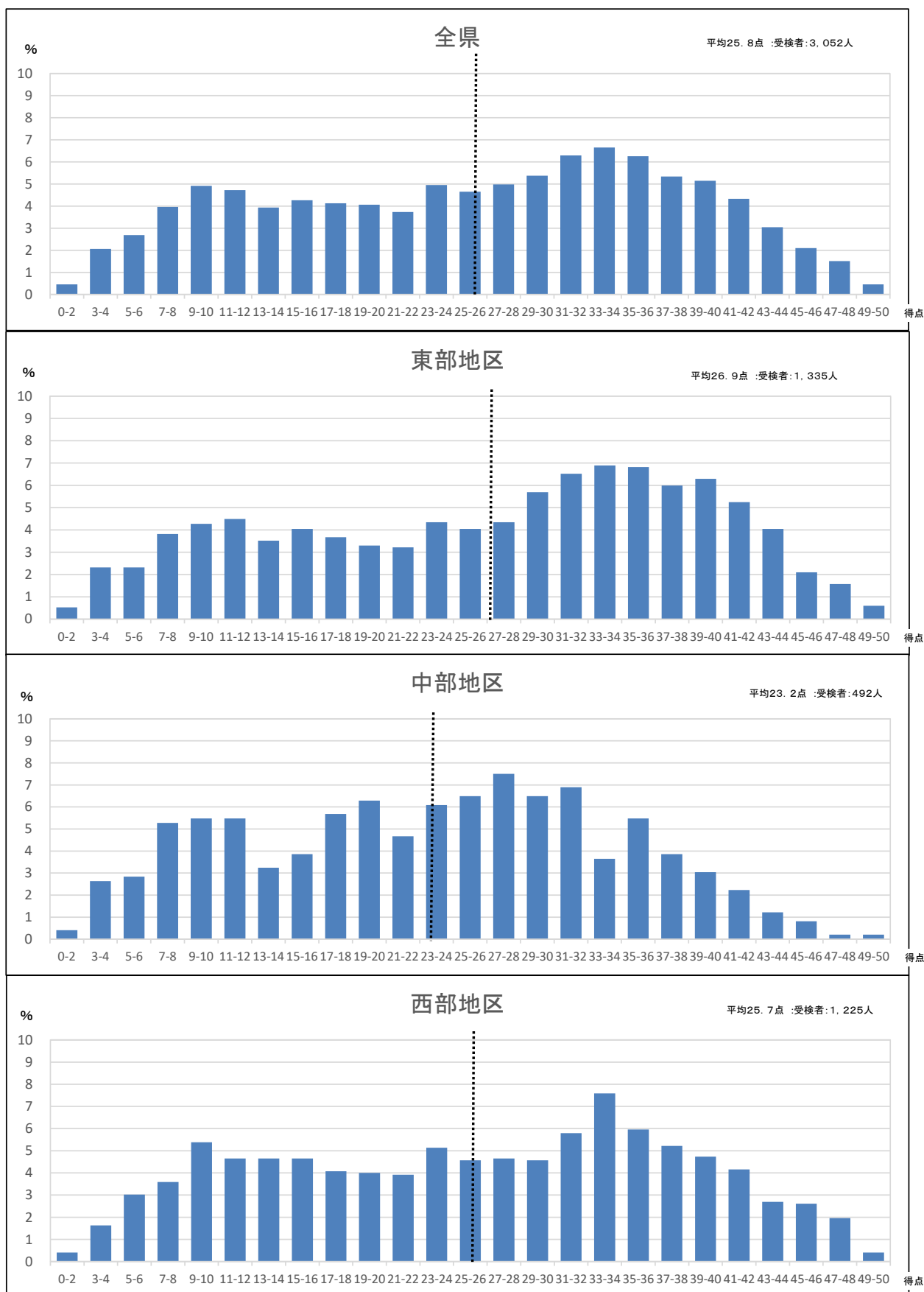
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和4年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



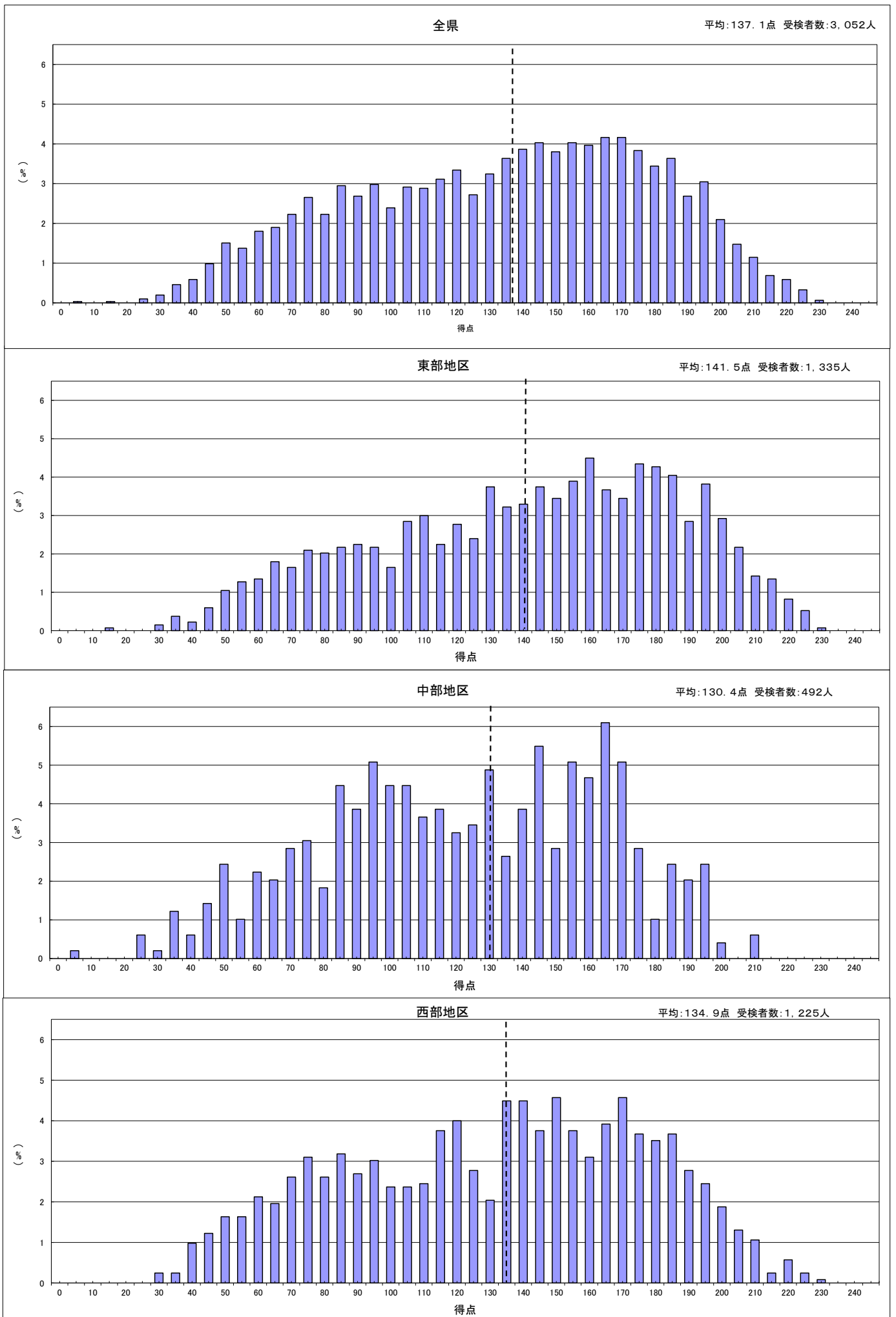
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和4年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和4年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和4年度鳥取県立高等学校
入学者選抜学力検査分析

鳥取県教育委員会

《 考 察 》

【 国 語 】

国語については、知識及び技能を問う問題から総合的な思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題した。知識及び技能を問う問題においては、漢字の読みに関する問題の正答率は高かったが、書写、文法等の知識を問う問題の正答率は低かった。記述問題（20～40字等、一定の文字数で解答するような問題）においては、正答率は低かったものの、昨年度と比べ、部分点率は増加し、無答率は大幅に減少した。古文に関する問題においては、正答率が低いものは見られなかった。話し合いにおける合意形成の仕方に関する知識を問う問題は正答率が高かったが、目的や場面に応じて、話すこと・聞くことに関する知識を問う問題は正答率が低かった。日頃の学習や生活の場でも、実際に言葉を通じて伝え合う活動を積極的に取り入れたい。また、作文に関しては、意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報の関係等について自分の考えを条件に従って適切な文章にまとめる力を育成していく必要がある。

【 社 会 】

社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解を問う問題、既習の知識を活用し、社会的な見方・考え方を働かせながら、様々な地図、グラフ、表、資料を適切に読み取り、思考・判断・表現させる問題を出題した。地図の読み取りについては正答率が高かった。一方、グラフや表から地域的特色や各時代の特色をつかむ問題の正答率が低かった。地理的分野では、世界の各州の地域的特色や課題、また、世界の各地域と日本との結び付き等に着目し、多面的・多角的に考察する力が求められる。歴史的分野では、各時代の特色の適切な理解とともに、特に近現代において、世界の動きとの関連に着目しながら、社会の変化の様子を的確に捉えることが重要である。公民的分野では、現代の社会生活や国際社会の動向と関連付けながら、課題について公正に判断し、表現する力が必要である。小学校での学びや三分野相互、他教科・他領域との関連等も踏まえ、持続可能な社会に寄与する資質・能力を育成する授業づくりが求められる。

【 数 学 】

数学については、基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、概念と知識を結びつける問題や解決の方法・手順について記述させる問題、数学的な見方・考え方を働かせて論理的に考察させる問題を出題した。基本的な計算や数値を求める問題は正答率が高く、学習成果が上がっている。概念と知識を結びつける問題、解決の方法・手順について記述させる問題の正答率は高くはなかった。与えられた条件から文字を用いて立式し、数学的な見方・考え方を働かせて対象を論理的に考察する問題の正答率は低かった。このことから、基礎となる事項のより一層の定着を図るとともに、概念と知識を結びつけたり、様々な事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えさせたりする指導を、さらに充実させることが重要である。

【 理 科 】

理科については、基礎的・基本的な知識を問う問題や、観察・実験の結果や資料を読み取り考察する問題を出題した。重要語句や基本的な知識を問う問題は、昨年同様正答率が高く、無答率が低かった。しかし、実験結果から必要な情報を抽出して実験結果を予想する問題や、資料を参考にしながら課題を解決する問題の正答率が低かった。授業において、日常生活や社会との関わりの中で、生徒が自らの力で知識を獲得し、理解を深めて体系化していくような指導の工夫が必要である。また、見通しを持って観察・実験を計画したり、結果を表やグラフに表して、分析して解釈したりするような、科学的に探究する活動を重視した授業を実施し、科学的な思考力・判断力・表現力等の育成を目指した指導の工夫が必要である。

【 英 語 】

英語については「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識及び技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で用いられる会話やまとまりのある文章を題材に出題した。具体的な情報を正確に聞き取ったり、短い英文（スピーチ）や段落ごとの概要を読み取ったりする設問では正答率が高かったが、実際のコミュニケーションの場面において、知識や技能を活用して自分の意見や考えを表現する問題では正答率が低かった。今後は、複数の領域を統合した言語活動を授業に十分取り入れる必要がある。その際に、実際のコミュニケーションを意識した場面を設定し、生徒が習得した知識や経験を活かして、思考・判断・表現することを繰り返し行うことが重要である。

令和4年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】（答案数：175）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題一	問一	(1)	漢字の読み	記述	163	92.1%	0	0.0%	11	6.2%	1	0.6%
		(2)	漢字の読み	記述	145	81.9%	0	0.0%	29	16.4%	1	0.6%
		(3)	漢字の書き	記述	123	69.5%	0	0.0%	43	24.3%	9	5.1%
		(4)	漢字の書き	記述	149	84.2%	0	0.0%	19	10.7%	7	4.0%
		(5)	漢字の書き	記述	113	63.8%	0	0.0%	46	26.0%	16	9.0%
	問二	書写の知識	記号	80	45.2%	0	0.0%	94	53.1%	1	0.6%	
	問三	語句の知識	記号	103	58.2%	0	0.0%	72	40.7%	0	0.0%	
	問四	(1)	文法の知識	記号	40	22.6%	0	0.0%	135	76.3%	0	0.0%
		(2)	文法の知識	記号	89	50.3%	0	0.0%	86	48.6%	0	0.0%
	問五	漢文の知識	記号	144	81.4%	0	0.0%	31	17.5%	0	0.0%	
問題二	問一	語句の知識	記号	137	77.4%	0	0.0%	37	20.9%	1	0.6%	
	問二	内容の知識	記号	66	37.3%	45	25.4%	46	26.0%	18	10.2%	
	問三	内容の理解	記号	162	91.5%	0	0.0%	12	6.8%	1	0.6%	
	問四	内容の理解	記述	22	12.4%	118	66.7%	21	11.9%	14	7.9%	
	問五	内容の理解	記号	164	92.7%	0	0.0%	10	5.6%	1	0.6%	
	問六	表現の理解	記号	104	58.8%	0	0.0%	70	39.5%	1	0.6%	
問題三	問一	表現の理解	記述	38	21.5%	35	19.8%	88	49.7%	14	7.9%	
	問二	内容の理解	記号	94	53.1%	0	0.0%	80	45.2%	1	0.6%	
	問三	内容の理解	記述	107	60.5%	0	0.0%	52	29.4%	16	9.0%	
	問四	敬語の知識	記号	155	87.6%	0	0.0%	18	10.2%	2	1.1%	
	問五	内容の理解	記述	35	19.8%	72	40.7%	40	22.6%	28	15.8%	
	問六	内容の理解	記号	67	37.9%	0	0.0%	107	60.5%	1	0.6%	
問題四	問一	内容の理解	記号	121	68.4%	0	0.0%	52	29.4%	2	1.1%	
	問二	歴史的仮名遣い	記述	167	94.4%	0	0.0%	8	4.5%	0	0.0%	
	問三	内容の理解	記号	117	66.1%	0	0.0%	58	32.8%	0	0.0%	
	問四	内容の理解	記号	112	63.3%	0	0.0%	63	35.6%	0	0.0%	
問題五	問一	文脈の理解	記述	37	20.9%	0	0.0%	117	66.1%	21	11.9%	
	問二	内容の理解	記号	153	86.4%	0	0.0%	17	9.6%	5	2.8%	
	問三	B	内容の理解	記号	108	61.0%	0	0.0%	62	35.0%	5	2.8%
		F	内容の理解	記号	125	70.6%	0	0.0%	45	25.4%	5	2.8%
	問四	目的に応じた表現	記述	47	26.6%	99	55.9%	18	10.2%	11	6.2%	

令和4年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】（答案数：175）

問題番号	大問	小問	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	(1)	本初子午線の位置	記号選択	126	72.0%	0	0.0%	49	28.0%	0	0.0%
		(2)	世界の地形（フィヨルド）	語句記述	120	68.6%	0	0.0%	35	20.0%	20	11.4%
				記号選択	102	58.3%	0	0.0%	69	39.4%	4	2.3%
	(3)	世界の農業の特色	記号選択	114	65.1%	0	0.0%	61	34.9%	0	0.0%	
	問2	(1)	新エネルギー（シェールガス）	語句記述	36	20.6%	0	0.0%	134	76.6%	5	2.9%
		(2)	東南アジア諸国のおもな宗教	記号選択	45	25.7%	0	0.0%	130	74.3%	0	0.0%
		(3)	世界のGDPと輸出額	記号選択	60	34.3%	0	0.0%	115	65.7%	0	0.0%
	問3	(1)	中四国の気候の特色	記号選択	108	61.7%	0	0.0%	67	38.3%	0	0.0%
		(2)	瀬戸内の業種別製造品	記号選択	67	38.3%	0	0.0%	108	61.7%	0	0.0%
		(3)	防災（津波や洪水の際の避難場所）	記号選択	165	94.3%	0	0.0%	9	5.1%	1	0.6%
		(4)	防災（防災への備え・無電柱化）	説明	63	36.0%	24	13.7%	74	42.3%	14	8.0%
	問4	(1)	日本の貿易総額と貿易品目の変化	記号選択	131	74.9%	0	0.0%	42	24.0%	2	1.1%
		(2)	日本の大陸（州）別輸入額と割合の変化	記号選択	61	34.9%	0	0.0%	113	64.6%	1	0.6%
(3)		東南アジア諸国の特色と日本とのつながり	記号選択	50	28.6%	0	0.0%	124	70.9%	1	0.6%	
問題2	問1	(1)	中国の思想家（儒教の祖）	語句記述	93	53.1%	0	0.0%	67	38.3%	15	8.6%
		(2)	承久の乱と豊臣秀吉の政策	記号選択	96	54.9%	0	0.0%	79	45.1%	0	0.0%
		(3)	古代の土地や人民の掌握	並べ替え	16	9.1%	0	0.0%	157	89.7%	2	1.1%
		(4)	平氏政権の経済基盤	記号選択	117	66.9%	0	0.0%	58	33.1%	0	0.0%
		(5)	室町時代の海外との交流と諸外国のようす	記号選択	51	29.1%	0	0.0%	124	70.9%	0	0.0%
		(6)	元禄期の産業の特色	記号選択	98	56.0%	0	0.0%	77	44.0%	0	0.0%
	問2	(1)	近世から近代の産業・経済の特色	記号選択	25	14.3%	0	0.0%	150	85.7%	0	0.0%
		(2)	日露戦争後の日本の外交	記号選択	74	42.3%	0	0.0%	100	57.1%	1	0.6%
		(3)①A	欧米諸国の近代化の動き	記号選択	63	36.0%	0	0.0%	111	63.4%	1	0.6%
				記号選択	94	53.7%	0	0.0%	80	45.7%	1	0.6%
		(3)②	大正時代の民主主義と普通選挙	記号選択	93	53.1%	0	0.0%	80	45.7%	2	1.1%
		(3)③	国際協調外交推進の理由	説明	12	6.9%	45	25.7%	81	46.3%	37	21.1%
		(4)①	サンフランシスコ平和条約	記号選択	51	29.1%	0	0.0%	123	70.3%	1	0.6%
(4)②	戦後の日本や世界のできごと	記号選択	91	52.0%	0	0.0%	83	47.4%	2	1.1%		
問題3	問1	(1)	地方公共団体のしくみ	記号選択	84	48.0%	0	0.0%	89	50.9%	2	1.1%
		(2)	国連平和維持活動	語句記述	92	52.6%	0	0.0%	73	41.7%	10	5.7%
		(3)	消費税の特色と課題	記号選択	95	54.3%	0	0.0%	78	44.6%	2	1.1%
		(4)①	連立政権	語句記述	88	50.3%	0	0.0%	69	39.4%	18	10.3%
		(4)②	衆議院議員選挙のしくみ	記号選択	52	29.7%	0	0.0%	120	68.6%	3	1.7%
	問2	(1)	障がい者が利用できる建物・施設	記号選択	165	94.3%	0	0.0%	7	4.0%	3	1.7%
		(2)	パリ協定の意義	記号選択	97	55.4%	0	0.0%	74	42.3%	4	2.3%
		(3)①	消費生活と経済	記号選択	65	37.1%	0	0.0%	105	60.0%	5	2.9%
		(3)①A	需要と供給	語句記述	62	35.4%	0	0.0%	97	55.4%	16	9.1%
				語句記述	61	34.9%	0	0.0%	98	56.0%	16	9.1%
	問3	(4)①A	天皇の国事行為	語句記述	53	30.3%	0	0.0%	104	59.4%	18	10.3%
				語句記述	125	71.4%	0	0.0%	32	18.3%	18	10.3%
		(2)	子ども（児童）の権利（に関する）条約	記号選択	144	82.3%	0	0.0%	23	13.1%	8	4.6%
(3)		難民問題とUNHCR	記号選択	52	29.7%	0	0.0%	112	64.0%	11	6.3%	
(4)		常任理事国の拒否権	説明	95	54.3%	21	12.0%	33	18.9%	26	14.9%	

令和4年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【数学】（答案数：175）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	計算	151	86.3%	0	0.0%	24	13.7%	0	0.0%
		(2) 平方根を含む式の計算	計算	143	81.7%	0	0.0%	28	16.0%	4	2.3%
		(3) 分数の計算（同類項をまとめる）	計算	113	64.6%	0	0.0%	60	34.3%	2	1.1%
		(4) 単項式の計算（乗除）	計算	123	70.3%	0	0.0%	50	28.6%	2	1.1%
	問2	因数分解	計算	105	60.0%	0	0.0%	55	31.4%	15	8.6%
	問3	連立方程式	計算	145	82.9%	0	0.0%	21	12.0%	9	5.1%
	問4	二次方程式（解の公式）	計算	133	76.0%	0	0.0%	29	16.6%	13	7.4%
	問5	一次方程式	選択	135	77.1%	0	0.0%	40	22.9%	0	0.0%
	問6	不等式	記述	106	60.6%	0	0.0%	63	36.0%	6	3.4%
	問7	円周角の定理	計算	127	72.6%	0	0.0%	42	24.0%	6	3.4%
	問8	回転体の体積	計算	53	30.3%	0	0.0%	76	43.4%	46	26.3%
	問9	一次関数	選択	110	62.9%	0	0.0%	64	36.6%	1	0.6%
	問10	確率	計算	103	58.9%	0	0.0%	56	32.0%	16	9.1%
	問11	作図	作図	111	63.4%	23	13.1%	19	10.9%	22	12.6%
問12	(1) 証明	選択	138	78.9%	0	0.0%	36	20.6%	1	0.6%	
	(2) 証明	記述	138	78.9%	0	0.0%	28	16.0%	9	5.1%	
	(3) 証明	選択	127	72.6%	0	0.0%	46	26.3%	2	1.1%	
問題2	問1	(1) ヒストグラム	選択	169	96.6%	0	0.0%	6	3.4%	0	0.0%
		(2) 相対度数	記述	77	44.0%	24	13.7%	21	12.0%	53	30.3%
	問2	度数分布表の値 b	計算	115	65.7%	0	0.0%	49	28.0%	11	6.3%
		度数分布表の値 c	計算	119	68.0%	0	0.0%	45	25.7%	11	6.3%
問3	箱ひげ図	選択	45	25.7%	94	53.7%	35	20.0%	1	0.6%	
問題3	問1	(1) 面積	計算	102	58.3%	0	0.0%	63	36.0%	10	5.7%
		(2) 周りの長さとの面積	選択	108	61.7%	0	0.0%	62	35.4%	5	2.9%
	問2	一次方程式の立式	立式・計算	59	33.7%	0	0.0%	66	37.7%	50	28.6%
問3	立式	立式・計算	21	12.0%	0	0.0%	73	41.7%	81	46.3%	
問題4	問1	座標	計算	146	83.4%	0	0.0%	18	10.3%	11	6.3%
	問2	直線の式	計算	115	65.7%	0	0.0%	34	19.4%	26	14.9%
	問3	面積	計算	90.5	51.7%	2	1.1%	43	24.6%	39	22.3%
	問4	(1) 文字を用いた式	立式	60	34.3%	0	0.0%	32	18.3%	83	47.4%
		(2) 立式	立式・計算	27	15.4%	0	0.0%	61	34.9%	87	49.7%
問題5	問1	三平方の定理、面積	計算	91	52.0%	0	0.0%	53	30.3%	31	17.7%
	問2	(1) 相似比	計算	39	22.3%	0	0.0%	96	54.9%	40	22.9%
		(2) 面積	計算	3	1.7%	0	0.0%	69	39.4%	103	58.9%
		(3) 相似比	計算	6	3.4%	0	0.0%	83	47.4%	86	49.1%

令和4年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】（答案数：175）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	アブラナの花のつくり	選択 記号選択	138	78.9%	0	0.0%	37	21.1%	0	0.0%
	問2	被子植物の有性生殖	選択 記号選択	119	68.0%	0	0.0%	56	32.0%	0	0.0%
	問3	双子葉類	選択 記号選択	133	76.0%	0	0.0%	42	24.0%	0	0.0%
	問4	シダ植物の種類	選択 記号選択	21	12.0%	0	0.0%	154	88.0%	0	0.0%
	問5	シダ植物やコケ植物の生殖	記述 語句	149	85.1%	0	0.0%	20	11.4%	6	3.4%
問題2	問1	有機物に含まれる元素	記述 語句	51	29.1%	0	0.0%	123	70.3%	1	0.6%
	問2	炭素を含む物質	選択 記号選択	20	11.4%	0	0.0%	155	88.6%	0	0.0%
	問3	水溶液の質量パーセント濃度	記述 計算	63	36.0%	0	0.0%	95	54.3%	17	9.7%
	問4	物質の水へのとけやすさ	選択 記号選択	86	49.1%	0	0.0%	88	50.3%	1	0.6%
	問5	とけ残る物質の質量	記述 計算	38	21.7%	0	0.0%	111	63.4%	26	14.9%
問題3	問1	小球の質量とくいの移動距離	記述 作図	136	77.7%	0	0.0%	37	21.1%	2	1.1%
	問2	運動エネルギーの大きさと小球の速さや質量の関係	選択 記号選択	145	82.9%	0	0.0%	30	17.1%	0	0.0%
	問3	運動エネルギーと位置エネルギーの関係	選択 記号選択	141	80.6%	0	0.0%	34	19.4%	0	0.0%
	問4	おもりが上がる位置	選択 記号選択	138	78.9%	0	0.0%	37	21.1%	0	0.0%
	問5	くぎがない時とある時の実験結果	選択 記号選択	80	45.7%	0	0.0%	95	54.3%	0	0.0%
問題4	問1	温暖前線	記述 語句	140	80.0%	0	0.0%	34	19.4%	1	0.6%
	問2	前線付近の様子	選択 記号選択	109	62.3%	0	0.0%	66	37.7%	0	0.0%
	問3	前線が移動した時の天気の変化	選択 並べ替え	50	28.6%	0	0.0%	125	71.4%	0	0.0%
	問4	赤道付近と極付近の気圧の違い	記述 語句	86	49.1%	0	0.0%	88	50.3%	1	0.6%
	問5	偏西風	記述 語句	163	93.1%	0	0.0%	11	6.3%	1	0.6%
問題5	問1	(1) 肺胞	記述 語句	148	84.6%	0	0.0%	21	12.0%	6	3.4%
		(2) ガス交換の効率が良くなる理由	記述 説明	118	67.4%	0	0.0%	47	26.9%	10	5.7%
	問2	唾液のはたらきによる色の変化	選択 記号選択	115	65.7%	0	0.0%	60	34.3%	0	0.0%
	問3	対照実験の方法とその結果	選択 記号選択	108	61.7%	0	0.0%	67	38.3%	0	0.0%
	問4	アミラーゼ	記述 語句	144	82.3%	0	0.0%	23	13.1%	8	4.6%
問題6	問1	電離	記述 語句	124	70.9%	0	0.0%	47	26.9%	4	2.3%
	問2	硝酸銀水溶液と銅線の反応	選択 記号選択	71	40.6%	0	0.0%	104	59.4%	0	0.0%
	問3	硝酸銀と銅の反応の化学反応式	記述 化学式等	43	24.6%	7	4.0%	113	64.6%	12	6.9%
	問4	ダニエル電池の原理	選択 記号選択	123	70.3%	0	0.0%	51	29.1%	1	0.6%
	問5	イオンになりやすい金属の順	選択 記号選択	95	54.3%	0	0.0%	80	45.7%	0	0.0%
問題7	問1	抵抗器が入っている理由	選択 記号選択	133	76.0%	0	0.0%	41	23.4%	1	0.6%
	問2	電流と電圧の関係のグラフ	記述 作図	154	88.0%	0	0.0%	17	9.7%	4	2.3%
	問3	抵抗器で消費される電力	記述 計算	74	42.3%	0	0.0%	87	49.7%	14	8.0%
	問4	コイルが回転する向き	選択 並べ替え	90	51.4%	0	0.0%	80	45.7%	5	2.9%
	問5	指でコイルを回転させたときの結果	記述 説明	97	55.4%	0	0.0%	61	34.9%	17	9.7%
問題8	問1	木星型惑星	記述 語句	143	81.7%	0	0.0%	25	14.3%	7	4.0%
	問2	地球型惑星と木星型惑星の特徴	選択 記号選択	15	8.6%	0	0.0%	157	89.7%	3	1.7%
	問3	太陽系外縁天体	記述 語句	81	46.3%	0	0.0%	81	46.3%	13	7.4%
	問4	B 金星の特徴	選択 記号選択	53	30.3%	0	0.0%	119	68.0%	3	1.7%
		G 木星の特徴	選択 記号選択	128	73.1%	0	0.0%	44	25.1%	3	1.7%
問5	天王星の質量	選択 記号選択	59	33.7%	0	0.0%	112	64.0%	4	2.3%	

令和4年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】（答案数：175）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題1	問1	No. 1	短文の聞き取り (イラスト選択)	記号選択	168	96.0%	0	0.0%	7	4.0%	0	0.0%
		No. 2	短文の聞き取り (イラスト選択)	記号選択	147	84.0%	0	0.0%	28	16.0%	0	0.0%
		No. 3	短文の聞き取り (イラスト選択)	記号選択	152	86.9%	0	0.0%	23	13.1%	0	0.0%
	問2	No. 1	対話の聞き取り	記号選択	126	72.0%	0	0.0%	48	27.4%	1	0.6%
		No. 2	対話の聞き取り	記号選択	117	66.9%	0	0.0%	57	32.6%	1	0.6%
	問3	まとまりのある対話の聞き取り	記号整序	61	34.9%	0	0.0%	114	65.1%	0	0.0%	
	問4	Ques. 1	まとまりのある説明の聞き取り	単語補充	68	38.9%	0	0.0%	85	48.6%	22	12.6%
		Ques. 2	まとまりのある説明の聞き取り	単語補充	10	5.7%	0	0.0%	140	80.0%	25	14.3%
		Ques. 3	まとまりのある説明の聞き取り	英文記述	20	11.4%	10	5.7%	89	50.9%	56	32.0%
問題2	問1	No. 1	対話文中の単語補充	単語補充	127	72.6%	0	0.0%	38	21.7%	10	5.7%
		No. 2	対話文中の単語補充	単語補充	73	41.7%	0	0.0%	94	53.7%	8	4.6%
		No. 3	対話文中の単語補充	単語補充	97	55.4%	0	0.0%	68	38.9%	10	5.7%
	問2	No. 1	英文中の単語補充	記号選択	91	52.0%	0	0.0%	84	48.0%	0	0.0%
		No. 2	英文中の単語補充	記号選択	103	58.9%	0	0.0%	72	41.1%	0	0.0%
問3	語形変化及び不足語補充	英文部分記述	55	31.4%	42	24.0%	64	36.6%	14	8.0%		
問題3	問1	No. 1	対話文完成 (英文記述)	英文記述	97	55.4%	5	2.9%	54	30.9%	19	10.9%
		No. 2	対話文完成 (英文記述)	英文記述	56	32.0%	18	10.3%	77	44.0%	24	13.7%
	問2	テーマ英作文 (問題と解決策)	テーマ英作文	9	5.1%	114	29.1%	86	49.1%	29	16.6%	
問題4	問1	・内容把握 (英文選択)	記号選択	129	73.7%	0	0.0%	46	26.3%	0	0.0%	
	問2	・内容把握 (英文選択)	記号選択	57	32.6%	0	0.0%	118	67.4%	0	0.0%	
	問3	・内容把握 (グラフ選択)	記号選択	84	48.0%	0	0.0%	89	50.9%	2	1.1%	
	問4	・内容把握 (和文記述)	日本文記述	67	38.3%	38	21.7%	48	27.4%	22	12.6%	
	問5	・内容把握 (英文選択)	記号選択	106	60.6%	0	0.0%	69	39.4%	0	0.0%	
	問6	・内容把握 (英文選択)	記号選択	127	72.6%	0	0.0%	48	27.4%	0	0.0%	
問題5	問1	・内容把握 (和文選択)	記号選択	141	80.6%	0	0.0%	34	19.4%	0	0.0%	
	問2	・内容把握 (英文選択)	記号選択	132	75.4%	0	0.0%	42	24.0%	1	0.6%	
	問3	・内容把握 (和文記述)	日本文記述	80	45.7%	40	22.9%	25	14.3%	30	17.1%	
	問4	・内容把握 (英語補充)	単語補充	35	20.0%	5	2.9%	106	60.6%	29	16.6%	
	問5	・内容把握 (英文選択)	記号選択	125	71.4%	0	0.0%	48	27.4%	2	1.1%	
	問6	・意見英作文 (英語記述)	英文記述	35	20.0%	42	24.0%	58	33.1%	40	22.9%	

《 国 語 》

【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識が身につけているかをみる。
- 2 文学的な文章を読むことを通して、場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 3 説明的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 4 古典を読むことを通して、伝統的な言語文化に関する事項や記述された内容について、理解する力をみる。
- 5 目的や場面に応じて話すこと・聞くことについて、その理解力をみる。また、与えられた条件に従い、目的に応じて資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめる力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、基礎的・基本的事項についての知識を問う問題構成とした。漢字の読みに関する問題の正答率は高く、中学校での学習指導の定着がうかがえた。一方、書写、文法の知識を問う問題の正答率は低かった。基本的な語句や文法等について、正しく理解・定着させることが必要である。
- 2 問題二は、文学的文章からの出題とし、場面や心情を的確に読み取る力を問う問題構成とした。場面や状況の理解に関する問題は正答率が高かったが、文脈に即して登場人物の心情を理解し、的確に説明する問題の正答率は低かった。登場人物の描写に注意して心情や主題を読み取るとともに、それを与えられた条件に従って表現する力の育成が重要である。
- 3 問題三は、説明的な文章からの出題とし、内容を理解する力を問う問題構成とした。文章の構成や展開、文脈に即して比喻表現を理解し、表現する問題や、筆者の考えを的確に読み取り、条件に従ってまとめる問題の正答率が低かった。日頃の学習の中で、説明的な文章に多く触れ、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力を育成する必要がある。
- 4 問題四は、古文の基本的な知識や内容を理解する力を問う問題構成とした。歴史的仮名遣いの問題は正答率が高く、文脈を理解した上で答える問題も正答率が低いものは見られなかった。日頃の学習において、現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典により一層親しむ態度を育てたい。
- 5 問題五は、中学生が地域の人たちへ学校を紹介する動画制作をテーマに、制作にあたる委員会の「話し合い」の場面を設定し、話すこと・聞くことに関する力を問う問題構成とした。また、「話し合い」の中で話題となった「活動」を取り上げ、与えられた条件に従って的確に表現する力をみる問いで構成した。話し合いにおける合意形成の仕方に関する知識を問う問題は正答率が高かったが、目的や場面に応じて、話すこと・聞くことに関する知識を問う問題は正答率が低かった。日頃の学習や生活の場でも、実際に言葉を通じて伝え合う活動を積極的に取り入れたい。また、意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報の関係等について自分の考えを条件に従って適切な文章にまとめる力を育成していく必要がある。

《 社 会 》

【出題の基本方針】

- 1 世界と日本の地理的事象について、地図、グラフなどの資料をもとに、その地域的特色を考察する地理的な見方・考え方が身についているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、年表や図などの資料をもとに多面的・多角的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観して、総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本の政治や経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で考えて判断し、表現する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野に関する出題とした。世界や日本の自然環境や生活に関する問題、各都道府県の産業の特徴等、基礎的・基本的な知識、概念を問う問題の正答率が高かった。また、問3(3)《防災・地形図の読み取り》に関する問題の正答率は9割を超え、大規模な自然災害が相次ぐ現況において、防災に対する学習が充実していることが感じられる。一方、問2(2)《東南アジアの宗教》、問2(3)《GDPと輸出額》のように、統計資料を正確に読みとり、国や地域の特色から正解を導き出すような形式の問題の正答率は伸びなかった。また、問3(4)《無電柱化》の説明問題では、「安全」という視点に着目して、日常の生活体験も踏まえながら知識を活用する総合的な問題であったが、正答率は伸びなかった。今後も、現在の社会動向にも関心を持たせながら、単に地域的特色を理解するだけでなく、事象間の関連を考察しながら学習した地域的特色を総合的にとらえる力や、様々な資料を適切に選択・活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し表現する力を身に付けさせることが重要となる。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とし、問1は古代から近世、問2は近世から現代までの歴史を出題した。初見の資料やグラフが多く、戸惑う生徒もいたと考えられるが、既習知識を活用しながら、多面的・多角的に考察、選択することが可能な問題であったと考える。問1(5)《日明貿易と室町時代の特色》、問2(1)《近代の産業》の正答率が伸びず、各時代の特色を正しく掴むことに課題が見られる。また、問1(3)の並べ替え問題の正答率が伸びなかったことも、同様の課題があると考えられる。加えて、問2の正答率が極めて低く、近現代の学習の定着に大きな課題が見られる。我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習を重視するとともに、近現代史の学習を一層充実させ、日常の社会生活と関連付けながら社会的事象の歴史的な見方・考え方を養うことが重要である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。問2(1)《ピクトグラム》や問3(2)《子どもの権利条約》の正答率は8割を超え、障がいや人権など現代社会の課題に対応した学習の充実が感じられる。一方、問1(3)《消費税》、問2(3)①《消費生活》、②《需要と供給》の正答率が3～5割と低く、経済分野に関する基礎的・基本的な知識の定着に、引き続いて課題が見られた。今後、経済分野についての関心を高めることが重要となる。また、問1(4)②《選挙制度》の正答率が3割に満たず、令和4年4月からの成年年齢の引下げを目前にして、主権者教育のより一層の充実も求められる。現代社会の見方・考え方の基礎を育成するとともに、社会の形成に参画する態度を養うことが大切であり、公民的分野に関する知識を習得するだけでなく、様々な資料を適切に収集した上で多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に選択・判断する力を養うことが重要である。
- 4 三分野とも初見の資料やグラフが多かったためか、正確な読み取りや分析に課題が見られた。また、そのために必要な知識・技能の習得にも課題が感じられる。「何を理解しているか、何ができるか(生きて働く「知識・技能」の習得)」「理解していること、できることをどう使うか(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)」の、育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえた学習の充実が求められる。また、三分野の特質に応じた視点を生かした考察や構想(選択・判断)に向かう「問い」を設定し、「社会的な見方・考え方」を働かせることで社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする学習の一層の充実が求められる。

《 数 学 》

【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項に関する理解をみるとともに、計算する力・表現する力が身につけているかをみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方・考え方を働かせて、対象を論理的に考察し、課題を解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、小問集合とし、各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力を問う問題を多く出題した。概ね正答率が高く良好な結果であった。概念と知識を結びつける設問では、問5の正答率が77%で問9の正答率が63%と課題が見られた。全体として、概ね基礎的な力がついている。
- 2 問題2は、身近な場面をとりあげ、全体の傾向を把握するために表やグラフや箱ひげ図を用い、課題を解決する力を問う問題とした。問1(2)の記述問題(解決の方法・手順について記述させる問題)については、正答率が44%と課題が見られる。問2は正答率が高く良好であった。問3の正答率は26%と低く、箱ひげ図から全体の傾向を正しく読み取る力を育成することが重要である。
- 3 問題3は、与えられた条件から文字を用いて立式し、課題を解決する力を問う問題とした。問1は具体的な長方形の辺の長さについて求めることができていない解答が目立った。問2、3については、辺の長さについての規則性を読み取り、文字を用いて表すことに課題が見られた。条件設定を整理し規則性を見つける力、文字を用いて関係式を表現し処理する力の育成が重要である。
- 4 問題4は、関数を題材とし、論理的に考察し文字を適切に用いることで、課題を解決する力を問う問題とした。問1の正答率は高く力がついている。問3は正答率52%で課題が見られる。問4(1)(2)の正答率はともに低く、任意の座標について文字を用いて表現し処理する力の育成が引き続き重要である。
- 5 問題5は、図形を題材とし、数学的な見方・考え方を働かせて対象を論理的に考察し、課題を解決する力を問う問題とした。問1、2(1)は基本的な内容だが、正答率がそれぞれ52%、22%と低かった。問題解決のための見通しや必要な条件を自ら見つけ出す力の育成が引き続き重要である。

《 理 科 》

【出題の基本方針】

- 1 自然の事物・現象について、基礎的・基本的事項を理解し、知識が身についているかをみる。
- 2 自然の事物・現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方が身についているかをみる。
- 3 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを表現する力をみる。
- 4 身近な自然の事物・現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかをみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。身近な植物の特徴について、知識が身についているかをみる問題である。問2の被子植物の有性生殖についての総合的な理解を問う問題では、正答率が68.0%と高かった。植物に関する基礎的・基本的事項の定着がみられた。
- 2 問題2は、化学分野に関する出題とした。白い粉末が何であるかを明らかにする実験を通して、実験結果をもとに、総合的に考察する力をみる問題である。問4の温度と溶解度の関係を表したグラフを読み取り、実験結果を予想できるかをみる問題では、正答率が49.1%と低かった。グラフから規則性や法則性を見いだして、実験結果を予想し、仮説を立てる力を育成する指導の工夫が必要である。
- 3 問題3は、物理分野に関する出題とした。物体がもつエネルギーについての実験を通して、実験結果から規則性を見いだす力をみる問題である。問5の振り子の実験において、くぎを打ったときの実験結果を予想できるかをみる問題では、正答率が45.7%と低かった。条件を変えた時の結果を推測して仮説を立て、見通しを持って実験を行い、実験結果を比較して科学的に考察する力を育成する指導の工夫が必要である。問3の運動エネルギーと位置エネルギーの変化について問う問題では、正答率が80.6%と高く、力学的エネルギーについて概念的な理解の定着がみられた。
- 4 問題4は、地学分野に関する出題とした。日本付近の低気圧と前線の動きや、地球規模での大気の動きについて、科学的な見方や考え方が身についているかをみる問題である。問3の低気圧と前線が真東に進んだときの天気の変化について考えることができるかをみる問題では、正答率が28.6%と低かった。前線の通過によっておこる天気の変化について、暖気や寒気と関連付けながら理解させる指導の工夫が必要である。
- 5 問題5は、生物分野に関する出題とした。身近な自然の事物や現象に興味・関心をもち探究する態度が身についているかをみる問いとした。問1(1)の多数の小さな袋の名称を問う問題では正答率が84.6%、問4の消化酵素を問う問題では正答率が82.3%と高く、生物の体のつくりや働きに関する基礎的・基本的事項の定着がみられた。
- 6 問題6は、化学分野に関する出題とした。電解質水溶液と金属の実験について、科学的な見方や考え方が身についているかをみる問題である。問5の2つの実験の結果を適切に処理し、3種類の金属をイオンになりやすい金属の順に並べることができるかをみる問題では、正答率が54.3%と低かった。金属イオンについて、複数の電解質水溶液と金属の化学変化の実験を通して、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、総合的に考察して、自らの考えを表現するような指導の工夫が必要である。問4のダニエル電池の原理について問う問題では、正答率が70.3%と高く、基本的事項の定着がみられた。
- 7 問題7は、物理分野に関する出題とした。電流が磁界との相互作用で受ける力や電磁誘導の実験を通して、回路の電流・電圧や磁界中の電流が受ける力について科学的な見方や考え方が身についているかを見る問題である。問3の実験結果をもとに、電流計の値が変わった場合について、電圧計の値を予想し、電力を計算することができるかをみる問題では、正答率が42.3%と低かった。実験結果から規則性を見いだし、電力について理解を深めるような指導の工夫が必要である。
- 8 問題8は、地学分野に関する出題とした。太陽系の天体の資料をもとに、太陽系の天体の特徴を見いだすなど、科学的な見方や考え方が身についているかを見る問題である。問5の惑星の質量が地球の質量の何倍かについて、資料を参考にしながら求めることができるかをみる問題では、正答率が33.7%と低かった。資料を分析して解釈し、天体についての特徴を見いだすような指導の工夫が必要である。

《 英 語 》

【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の各領域にわたる基礎的・基本的知識と、それを活用する力が身につけているかをみる。
- 2 短い英語を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を理解したり、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常的な話題について、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを表現する力をみる。
- 4 まとまりのある英文を読んで、本文や対話の流れを理解したり、必要な情報を正確に読み取ったりする力をみる。
- 5 物語文やスピーチ原稿を読んで、本文の展開や、登場人物の考えや気持ちなどを正確に読み取る力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1の「聞くこと」に関する問題では、具体的な情報を正確に聞き取る問題と、短い会話の概要や必要な情報を聞き取る問題の正答率は高かったが、まとまりのある会話を聞いて概要を聞き取ったり、メッセージを聞いて英語で表現したりする問題の正答率は低かった。普段の授業において、聞き取るポイントを明確にしたうえで聞いたり、聞いて得られた情報や表現を整理・吟味し、表現する際に活用したりする言語活動の充実が求められる。
- 2 問題2の基礎的な会話表現や語彙及び文法運用に関する問題では、身につけている語彙や文法の知識を場面や状況に応じて適切に運用することに課題がみられた。場面設定を明確にした言語活動や、対話や文章の流れからふさわしい文の形式や時制を考え、実際に使用する活動を通して、確実な定着を図ることが必要である。
- 3 問題3は、場面に応じた表現の運用力と、読み取った英文の内容をふまえて自分の考え等を英語で述べる表現力（テーマ作文）をみた。聞いたり読んだりした内容から、自分が伝える内容を捉え、既習の知識を活用して伝える力に課題が見られた。普段の授業において、目的・場面・状況を意識した技能統合型の言語活動を設定し、まとまりのある英語を聞いたり読んだりして、主体的に考え判断しながら相手に正しく伝える力を育成することが必要である。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、スマートフォンの利用に関する問題を題材に、中学生と外国語指導助手との会話（グラフを含む）とスピーチの内容をもとにした読解問題を出題し、述べられている事柄や情報を正確に読み取る力をみた。短い英文（スピーチ）を読んで要点を捉える問題については、正答率が比較的高く、文章の構成や書き手の意図を意識しながら読み取ることは概ねできていた。しかし、会話文から話者の意見を正確に読み取ることにおいては、課題が見られた。普段の授業において、読みづらい部分があっても手掛かりを見つけてながら読み進め、話の内容を英語でまとめる活動などを通して、おおまかな会話の流れを把握する力を育成することが重要である。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、バスケットボール部に所属するアメリカの中学生が、チームメイトやコーチとの関わりを通して成長していく物語を題材に、本文の展開や登場人物の心情を、主体的な読解をとおして理解する力をみた。本文の段落ごとの内容をもとに、登場人物の様子や心情を読み取る設問では高い正答率であったが、複数段落にもとづく概要理解や文章全体の筆者の意図を理解し、自分の考えを英語で表現する力に課題がみられた。授業において、複数段落や文章全体の理解を求める発問をしたり、読み取ったことに対する自分の考えを表現したりする活動の時間を確保していく必要がある。